

ドイツ語（初級 A） 第 14 回 基数

範囲：教科書第 9 課（S. 36-38）

《今回の基本例文》

49. Wie viel kosten fünf Hefte? – Fünf Hefte kosten sechs Euro. (CD51-2b)

ノート 5 冊でいくらですか？－ ノート 5 冊でしたら 6 ユーロになります。

〔基数、値段〕

50. Wie viel Uhr ist es? – Es ist zwölf Uhr fünfzehn. (CD52-4)

いま何時ですか？－12 時 15 分です。

〔時刻、（基数）〕

I 数詞（基数）

■ 数詞について

◇ 数詞のうち重要なものとしては、**基数**（数そのものや個数を表す、英語の *one, two, three*…）と**序数**（「何番目」を表す、同 *first, second, third*…）がある。

* ほか、反復数（同 *once, twice / two times*…）、倍数（同 *single, double, triple*…）など。

◇ 基数は**金額、時刻、西暦年**など、序数は月日などに用いる。ここでは基数を学ぶ。

* 序数は形容詞と同じ格変化をするため、あとに回す。 （⇒教科書 S. 67）

** 西暦年、特に 20 世紀までの西暦年は英語同様に特殊な言い方をする。これも月日と一緒に扱う。

1 基数 （S. 36）

0 = null

1 = eins, 2 = zwei, 3 = drei, 4 = vier 5 = fünf

6 = sechs 7 = sieben 8 = acht 9 = neun 10 = zehn

11 = elf, 12 = zwölf

◇ 1～12 に関しては、すでに覚えてもらった。 （⇒授業第 1 回配付資料 S. 7）

《13 以降の基数の覚え方》

13～19 : 3～9 + **zehn**

→ **dreizehn, vierzehn, fünfzehn, sechzehn, siebzehn, achtzehn, neunzehn**

20～90 : 2～9 + **zig** (30 のみ例外、-ßig)

→ **zwanzig, dreißig, vierzig, fünfzig, sechzig, siebzig, achtzig, neunzig**

100～900 : 1～9 + **hundert**

◇ 13～19 : 3～9 + **zehn**。ただし、**sechzehn** (16) と **siebzehn** (17) だけ若干異なるので注意。

* sechs は chs の発音規則 ([ks]) を反映するが、sechzehn はあくまでも ch の発音規則 ([ç]) を反映。

** sieben の b は母音の前なので [b] の音、siebzehn の b は子音の前なので [p] の音。

- ◇ 20 以上の 2 桁の数は、
- 20～90：2～9＋**zig**。ただし、**zwanzig** (20) , **dreißig** (30) , **sechzig** (60) , **siebzig** (70) には注意。
* sechzig や siebzig の発音には、それぞれ sechzehn や siebzehn と同じ注意を要する。
 - 21～99：1～9＋**und**＋20～90。
 - なお、英語と異なって、ハイフンなどで分かち書きをせず一続きに表記する。

21 : einundzwanzig (= *twenty-one*)

* eins (1) は、最後に読まない場合は ein とする。

- ◇ 3 桁の数は、

百の位：〇〇**hundert**

→ 下二桁 の順

- 100～900：1～9＋**hundert**（英語の *hundred* と同じ）。100 は単に **hundert** でも可。
- それ以外：100～900＋下 2 桁。
- やはり分かち書きはせず、ハイフンも用いない。4 桁～6 桁も同じ。

111 : [ein]hundertelf

365 : dreihundertfünfundsechzig

* 百の位 → 一の位 → (und →) 十の位の順になっていることに注意。

- ◇ さしあたり、この辺まで覚えておけばよい。これ以降は、現時点では参考程度でよい。

* のちに西暦年を扱うので、努力目標としては 4 桁まで言えるようになってほしい（21 世紀以降の西暦年は基数と同じ）。

練習

次の数字をドイツ語で言え。

a. 38 b. 45 c. 66 d. 73 e. 84 f. 119 g. 120 h. 121 i. 324 j. 999

- ◇ 4 桁～6 桁の数は、

〇〇**tausend**

→ 下三桁 の順

- 1000～9000：1～9＋**tausend**。
- 万や 10 万は 10 千や 100 千と考え、基数＋**tausend** を用いる（英語の *thousand* と同じ）。

2025 : zweitausendfünfundzwanzig

2909 : zweitausendneunhundert[und]neun

- ◇ 100 万, 200 万～：基数＋**Million**（英語の *million* と同じ、アクセントは on にあり）。なお、**Million** は一般の名詞（女性）扱いなので、

- 分かち書きをして、
- 100 万には女性形の不定冠詞 **eine** をつけ、200 万以降は複数形の **Millionen** にする。

100 万 : eine Million

200 万 : zwei Millionen

2 金額

€ 〇〇, ×× = 〇〇 Euro ×× [Cent]

おいくらですか？ : Wie viel kostet / kosten ... ?

◇ 現在のドイツの通貨体系では、

- ・基本通貨：Euro（日本語表記は「ユーロ」、発音は[ɔʏro]
- ・補助通貨（その 100 分の 1 の価値）：Cent（日本語表記は「セント」、発音は[sɛnt]もしくは[tɛnt]

が使われており、ユーロの記号は€で、セントは小数点以下で表す。

* 100 円に相当するのがユーロ、1 円に相当するのがセントだが、2025 年半ば時点では 1 ユーロ=160 円台のレート。

€ 1 = ein Euro

€ 0,78 = achtundsiebzig Cent

€ 53,25 = dreiundfünfzig Euro fünfundzwanzig [Cent]

* この場合、Cent は省略してもよい。

◇ 金額を尋ねるとき、

- ・疑問詞は **wie viel**（英語の *how much* に相当）。
- ・動詞（「～（いくら）かかる」）は **kosten**（英語の *cost*）。kosten の変化は **arbeiten** 型（教科書 S.9）。

Wie viel kostet es?

（単数の品物を指して）おいくらですか？

Wie viel kosten sie?

（複数の品物を指して）おいくらですか？

3 時刻 (S. 37)

〇〇. ×× Uhr = 〇〇 Uhr ×× Minuten

何時ですか？ : Wie spät ist es?

Wie viel Uhr ist es?

◇ 「〇〇. ×× Uhr」は「〇〇時××分」の意で、〇〇 Uhr ×× [Minuten]と読む。Uhr は英語の *o'clock* に相当。Minuten（英語の *minutes*）は省いてもよい。

* Uhr は一般の女性名詞としては「時計 (*watch*)」、時刻表現としては「〇〇時 (*o'clock*)」ということ。

9. 00 Uhr = neun Uhr

16. 40 Uhr = sechzehn Uhr vierzig [Minuten]

◇ 「何時何分に」と時刻を言うとき、前置詞は、

- ・正確な時刻なら **um**。
- ・だいたい時刻なら **gegen**。

Der Zug nach Köln fährt um 14.23 Uhr [vierzehn Uhr dreiundzwanzig Minuten] vom Gleis 2 [zwei] ab.

ケルン行きの列車は 14 時 23 分に 2 番線から発車します。

* 動詞は分離動詞 **ab|fahren** (*vi.* 発車する)、vom は *von+dem* の融合形であることは承知の通り。

◇ 時刻を尋ねるとき、

- ・ 疑問詞は **wie spät** もしくは **wie viel Uhr**。

* wie は「どのくらい (=how)」、spät は形容詞「遅い」なので、wie spät は「どれくらい（時刻が）遅いか」の意味。

** 前述のように wie viel は *how much*、Uhr は「時」なので、wie viel Uhr は文字通り「何時か」の意味。

- ・ 主語には**非人称主語 es**。

Wie spät ist es?

何時ですか。

- Es ist 4 [vier] Uhr.

4 時です。

■ 練習問題の補足

Übung 3 (S. 38)

1-3. ab|fahren (*vi.* 乗物が出発する)、an|kommen (*vi.* 到着する) の分離動詞が使われている。出発地は von+3 格、目的地は in+4 格で表している。都市の位置は教科書扉の地図で確認のこと。

■ 参考：Viertel や halb を用いた時刻の言い方

◇ 以下は、英語でいう *quarter* や *half* を用いた時刻の言い方である。教科書には掲載されているが、これは覚えなくてよい。また、間違いやすいので使わない方がよい。もし母語話者が使ってきた場合、「〇〇 Uhr ×× Minuten」式で聞き返して確認しておくべきである。

◇ 「〇〇時××分」を Viertel (15 分、英語の *quarter* に相当) や halb (半/30 分、英語の *half* に相当) を用いて述べるときは、

- ・ 前置詞 vor (～前) や nach (～過ぎ) と併用する (Viertel のみ)。

16. 15 Uhr = (ein) Viertel nach sechzehn (16 時 15 分過ぎ)

16. 45 Uhr = (ein) Viertel vor siebzehn (17 時 15 分前)

・ 前置詞を用いないときは、Viertel n は n-1 時 15 分、halb n は n-1 時 30 分、drei Viertel n は n-1 時 45 分というように、〇〇時の 1 つあとの基数をうしろに従える。

16. 15 Uhr = Viertel 17 [siebzehn]

16. 30 Uhr = halb 17 [siebzehn]

16. 45 Uhr = drei Viertel 17 [siebzehn]

* Viertel は名詞のため語頭を大文字、halb は形容詞のため語頭を小文字。

* 結局、日本語で「n 時半」は「n 時 30 分」だが、ドイツ語で「halb n」は「n-1 時 30 分」であり、これがややこしいから使わない方がよいということ。Viertel や drei Viertel が入るとさらにわかりにくくなる。

連絡先など

教員のメールアドレス：tokan@nifty.com 授業のウェブサイト（進捗表示、配付資料あり）：<http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/>